

～環境学館いずみボランティアスタッフによる「いずみガイド」～

7月のテキゴト

7月6日(土)開催 いずみ理科教室「微生物の不思議」

本日の講師は、坂戸市石井の水処理センターを管理されている水ng株式会社の田代さんです。参加者は小学校4年生から6年生の16名でした。

まずはじめに「微生物をイメージして描いてみよう」という課題が出され、真ん中に大きな円が書かれているA4用紙にそれぞれ思い思いの微生物の絵を描きました。小学生の皆さんが描いてくれた微生物はアニメの主人公にそっくりだったり、とてもリアルで本当にいそうな姿だったりして、自由で個性的なイメージがたくさん浮かんだようでした。



微生物のイメージがなんとなく出来上がったところで下水を微生物の働きで分解して処理してきれいな水にする仕組みについての説明がありました。

微生物を使って作る発酵食品のクイズは身近な話題でとても盛り上がり、講師の先生の質問に元気な小学生たちがあれこれ答えて楽しそうでした。ときどき話がそれたりしても小学生たちの反応に応じて優しく丁寧に受け答えして話して下さっていました。「ヨーグルトは発酵食品だけど豆腐は違う」とか「お酒は？醤油は？」など身近なところにいる微生物について興味を広げていきました。

休憩のあとは顕微鏡で本物の微生物を観察しました。いつも仕事で使っている高価な顕微鏡を子供たちのために持ってきてくれました。豆腐を作ったりもしました。

イースト菌を使った実験では、三角フラスコを使ってイースト菌とお湯を混ぜたところへ、えさになるコーラ、砂糖、塩、ジャムの中から一つ選んで入れて、フラスコの口にかぶせた風船がふくらんでいく様子を観察しました。



ジャムを入れたフラスコからは泡がブクブクたくさん出て、風船が自然にふくらんでいく様子を見ていたら、私もなんだかワクワクして楽しかったです。「イースト菌も人間と同じように甘い物が好きなんだなあ」という感想を書いてくれた小学生もいて、微生物のふしぎなところを身近に感じる事ができた講座でした。